|  |
| --- |
| **原著（または技術報告）** |

**論文タイトル**

**（MS明朝，英語はTimes New Roman, 12ポイント, Bold，英語タイトルではCapitalization）**

筆頭著者氏名AAAA1\*, 共同著者氏名BBBB2

1筆頭著者所属施設名

2共同著者所属施設名

**【抄　録】**

抄録は，和文の場合300文字以内で記載してください．英文の場合には250words以内とします．和文はMS明朝，英語はTimes New Romanを使用し10.5ポイントを使用してください．著者所属記載後，一段ブランクを入れてください．また，抄録記載後，Keywordsまでに一段のブランクを入れてください．抄録はsingle spacingにて記載してください. 抄録の記載方法は，背景（Background）または目的（Objectives），方法（Methods），結果（Results），考察（Discussion），結論（Conclusions）に区分された構造化抄録，または非構造化抄録のいずれの方式でも良いものとします．

**【Key words】**

主要Key word5つ以内を記載する．各Key word間は例のように“；”で区分してください．例：放射線，教育

**【はじめに（または背景）】**

これは. 診療放射線学教育学会誌学術論文投稿フォームです．和文はMS明朝，英文はTimes New Romanを使用し，10.5ポイントのフォントサイズで記載してください．見出しの部分はBoldとしてください．本文（はじめに，方法，結果，考察，結論，謝辞，参考文献）については，二段組で記載してください．原著の場合10頁以内，技術報告の場合には6頁以内におさめてください．

**【方法（または対象）】**

1. **小見出し**

小見出しを使用する場合には，上記の記載方法を用いてください．

1. **数式**

数式はItalicで記載し，番号を付してください．例文を以下に示します．

*F(x) = ax2+by+c*  (1)

1. **単位系**

 数字はアラビア数字，単位系は国際単位系（SI単位系）を使用してください．

**【結果】**

図を記載する際には，以下の例を参考にしてください．なお，必要に応じてcaptionを付記してください．captionは図表タイトルの下側に記載してください．

図 1　図1のタイトル

（10.5ポイント，bold，センタリング）

\*\*必要に応じてcaptionを記載する．

なお，図を一段組で大きく記載することも可能です．

表は縦線を用いずに作成してください．

表 1　表1のタイトル

（10.5ポイント，bold，センタリング）



\*\*必要に応じてcaptionを記載する．

各々の図表には，順番どおりに番号を付し，本文中では図1，表1のように正しく引用されていることを著者の責任において確認してください．

**【考察】**

（略語の記載方法）

非標準的な略語は，読者が混乱する可能性がありますので使用を避け，標準的な略語のみ使用するようにしてください．本文中に略語を使用する際は，初出の時に正しく説明してください．例えば，computed tomography (CT)．

また，論文タイトルに略語を使用することは避けてください．

**【結論】**

**【謝辞】**

**【参考文献】**

（参考文献の一般的注意事項）

著者は，論文を引用する場合の誤りを最小限にするために，PubMedなどの電子的文献データベースを用いるか，または実際の論文コピーと照らし合わせて、参考文献を検証してください．

なお，抄録を参考文献として用いることは避けてください．また論文が受理はされているものの，未掲載のものについては，｢印刷中｣ [in press]の文字を必ず付記してください．

｢私信｣ [personal communication] については，それが公開されている情報源からは入手できないほど重要な役割を担うもので無いかぎり，引用を避けるようにしてください．

（参考文献の記載方法）

参考文献は，本文中で最初に言及された文献を1とし，そこから登場した順番に従って連続した番号を付してください．

本文中での記載方法は，以下に示す例に則ってください．

例）･･･教育の果たす役割は大きい1,2)．

　　･･･これらの先行研究3 - 7)においては･･･

（参考文献リストに記載する方法）

参考文献は，論文の末尾にリスト化して記載してください．記載方法は以下の例に則ってください．

[1] 鈴木太郎，山田次郎，田中三郎，他．XYZに関する分析．日本YYY雑誌 67, 40-49, 2012.

[2] Suzuki T, Yamada J, Tanaka S, et al. Investigation of XYZ. Journal of YYY 67, 40-49, 2012.

なお，雑誌名に略語を用いることも認めます．その場合には，以下の情報をもとに雑誌の略語を使用して管さい．

和文：医学中央雑誌刊行会（医中誌）データベースに収載された雑誌略名．（http://www.jamas.or.jp/user/database/list.html）

英文：Pubmedに収載された雑誌略語

（Journals referenced in the NCBI Databases ，<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journal>